

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0682 ◆◆◆

22/04/06

【 4月相場は「ドル安有利」、3月の反動調整続く可能性 】

今年3月、ドル/円相場の月間レンジは「114.65-125.10円」で、その変動幅は実に10.45円を記録した。これは、月末に掛けて「ミニ・フラッシュクラッシュ」ともいえるドル急落をたどったことが依然記憶に新しい2020年3月以来(10.52円)の大変動になる。

さて、そんな2年ぶりの活況を呈した3月相場を受けた、足もとの4月相場は一体どう動くのだろうか。今回の当レターでは恒例となっている経験則を参考にした月間見通しをレポートしてみたい。

◎3月相場は2年ぶりの大相場、4月相場は3月の反動安に注意

3月2日付の当レターで、筆者は「ドル/円は2ヵ月連続の小動き、今月早くも正念場」としたうえで、「過去の3月相場は『一年で一番大きく動く月』、期待は高いが…」とかなり悲観的なトーンで報じていた。しかし、結果は前述したとおり。期待以上の大相場となったことは間違いない。

ちなみに、先で月間変動幅10.45円は2020年3月以来(10.52円)の大変動と指摘したが、その前はドル安・円高方向に動いたもの。つまり今回とは方向性が逆だ。ドル高・円安方向に月間で10円以上動いたケースは、実に2016年11月以来(13.36円)のことになる。

さて、そんな3月相場を受けた4月相場だが、最初に1990年以降昨年まで過去32年間の星取表を指摘すると、14勝18敗となっていた。ややドル安・円高が優勢ではあるものの、勝率にすれば6割にも満たない結果で、大きな特徴と言えるほどではない。

一般的には3月は多くの企業が期末にあたるため、リパトリエーションと呼ばれる資金還流の動きから円高に振れやすい反面、4月は「名実ともに新年度入りすることで、生保や年金など資本筋からの外債投資が活発化。需給的にはドル高・円安有利」といった指摘も多い。しかし、前述したように過去の経験則からすると、必ずしもそうとは言えず、過度の期待は禁物なようだ。

方向性では目立った特徴が見いだせなかったドル/円だが、調べてみると、4月相場には別に重要なポイントが2つあることがわかった。

順を追って説明すると、うちひとつは「3月と4月の価格変動は逆方向に動くことが非常に多い」ということ。とくに2000年以降は例外と呼べるケースが稀であることも非常に興味深い。実際に、3月と4月のドル/円の月足を比較してみると全22例中19例までが的中、それも2003年以降2009年までは7連勝中を記録していたし、その後一度途切れたあと、2014-21年と現在も再び8連勝中だ。

一応参考までに指摘しておく、先日終了した今年の3月相場は、言わずもがなの月足陽線。次のザラ場ベースでは一時125.10円まで上昇したことは記憶に新しい。

いずれにしても、先で指摘した経験則からすれば、足もと4月相場は3月と逆方向の動きが優勢であるため、その調整ともいえるドル安・円高方向への動きに要注意であるかもしれない。ちなみに、先でも書いたように月間を通して10円以上もドル高が進展しており、フィボナッチの観点からすると、たとえ「半値押し」程度の調整が入ったとしても120円前後まで下落、61.8%であればターゲットは118円台だ。想像以上の深押しにも一応注意しておきたい。

一方、そんな4月相場の2つ目の特徴は「一年間のなかで1月に次いで年間の最高値 or 最安値のいずれかをつける公算が大きい」ことになるだろう。

参考までに、1月については1990年以降昨年までの32年間で13回がそのパターンに合致しているが、4月は同様に32年間で7回記録。たとえば、2019年には「1月に年間安値(104.10円)」をつけただけでなく、「4月は年間高値(112.40円)」を示現していた。また、4月につける「ドルの高値 or 安値」は単純に年間の最高値もしくは最安値となるだけでなく、それが結果として「歴史に残るヒストリカルレートになる」ケースも少なくないことも、参考意見として一応指摘しておきたい。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved



FX-newsletter